

第94号

し ら さ ぎ

あらたまの年の始めに



社会福祉法人 丹後大宮福祉社会理事長 石河 良一郎

新年おめでとうございます。

新春をご家族お揃いでお迎えになりましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の四月から始まった耐震化・増改築整備工事も九月末で一区切りを迎え、利用者の皆さんは増築・改修された施設で快適な生活を過ごしていただいています。そして、現在多目的ホールが三月末の竣工に向けて、工事の真最中です。この地域の特異な事情ですが、一月・二月の積雪が少なく、工事が順調に進捗することをひたすら願っているところです。

平成二十七年は耐震化・増改築整備工事に明けて暮れた二年でした。開設以来三十年を経過し老朽化・陳腐化著しい施設を、総事業費は約五億壹千万円余りを投じて、増築・改修することができました。このことは、利用者の皆さんのあゆみが丘学園での生活環境と、職員の職場環境の改善に大きく寄与することとなったと確信しています。取り分け、利用者の方の皆さんにとりましてより快適で安全・安心・安楽を目指した施設

に近付いたことになりました。このような中で、より質の高い支援とサービスの提供ができるように、職員が知識・技術の習得を図り、積極的なスキルアップに取り組みなければならぬと考えています。

そして、この度の耐震化・増改築整備工事を行うに当たりまして、全面的なご理解・ご支援を賜りました京都府当局に対しまして衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、政府が「二億総活躍国民会議」で打ち出した緊急対策として、介護の受け皿となる施設整備の推進と、介護離職ゼロの実現を掲げました。業種間で人材獲得競争が激化する中、介護業界では慢性的な人材不足が続いています。政府は2020年代初頭までに新たに五十万人分以上の介護の受け皿づくりを進めるとしています。団塊ジュニア世代の介護に伴う大量離職を防ぐのが狙いようですが、「建物を作っても職員の確保ができない」との不安の声が介護の現場では大きくなっています。まして、介護業界は、「低賃金、

重労働」とのイメージが先行し、慢性的な人手不足に陥っている現実があります。繰り返し開催される就職フェアに積極的に参加をして、人材の確保に努めています。その現状の厳しさを肌で感じている昨今です。現場の声はもつと悲痛で深刻なものがあります。なんとか政治の力で介護職員や生活支援職員の労働環境の整備や処遇改善を図り、異業種からの人材確保に繋がるような長期的な政策を政治に期待するものです。介護・生活支援は人の生活の成り立ちに欠かせない基礎的な重要な仕事だと考えています。介護職と生活支援職に対する正しい認識と評価や、身分の保証こそ政治として考えて欲しいものです。

末筆ながら、本年もあゆみが丘学園に対しまして、ご理解とご協力を、さらに二層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。新年のご挨拶とさせていただきます。



耐震化・増改築整備工事完了しました

施設長 藤村 友弘

耐震化・増改築整備工事を実施するにあたり、国・京都府・京丹後市様には、絶大なるご理解とご協力を賜り感謝をされるともにお礼を申し上げます。併せて、保護者会からも京都府様に要望書を提出して頂く等ご協力・ご支援を頂く中で実現できたと思っております。ありがとうございます。

この工事は、九月末までに完成し、支払いを済ませる事が大前提にありました。限られた期間の中で実施することの困難は色々な場面でありましたが、予定通り完成することが出来たのも、設計管理をお世話に



なりました(株)ゆう建築設計事務所様、施工業者の金下建設(株)様のご尽力のお陰と感謝申し上げます。地域の方々にも長い間御迷惑をお掛けしました。

た。今日の当学園は多くの方々の方々の御協力の賜物だと改めて感じています。当学園では、工事を進めるにあたり四人の職員が中心となり、各部署の現場職員の要望や意見を取り入れながら調整しました。限られた期間であることや現在所有する土地面積が決まっていること、また既存の建物の間取りについては大きく変更することが困難な中で、希望や要望を取り入れる事が出来ない事も多々ありました。



しかし、以前からの最大の願いであったのは個室化です。四人部屋を二人部屋に変え、個室を二十二室新たに増築できました。短期入所用として男女とも利用が可能な部屋を確保することも出来ました。部二階建てにはなりますが、エレベーターも設置し居室も全て洋室とし、バリアフリー化も実現しました。中庭だった場所に新デイルームを増築し、広さも明るさも各段に良くなりました。浴室には、リフト付き浴槽を導入しました。トイレは、乾式とし照明は感知式、カラは自動感知式、エアードライヤー(ジェットタオル)で手指を乾燥できるようになりました。老朽化していた既存の建物の耐震化補強はもちろん、歪みで開閉が辛いサッシ窓は隙間風が入り冷暖房の効率も悪い状況でしたが、今回ペアガラス入りのサッシにすることでそのことも改善できました。工事の期間中は、利用者の皆さん



の生活の場所の確保が出来なく、就寝のみ旧デイルームや他の人の部屋で行ってもらったりと窮屈な状況の中で過ごして頂くことになりましたが、大きな混乱もなく過ごすことが出来ました。利用者の皆様のご理解とご協力、そして工事の状況が常に変化の中で職員の適切な対応に感謝しています。

避難訓練

支援部主任 永岡 宏文



あゆみが丘学園では六月と十一月の年一回、避難訓練を実施しています。京丹後消防本部より二名の署員さんとアドバイザーとして参加して頂き、十一月

下旬に行ないました。新館が完成して初めての訓練で、尚かつ増改築に合わせて、自動火災報知器も新しくして頂きました。利用者、職員共どのような行動をするか、緊張感のあるドキドキの訓練でした。新館の二階の居室が火災という想定で夜間の四名体制で避難誘導を行いました。利用者さんは慣れたもので、落ち着いて職員の指示に従い避難されていきました。職員は今までより広い範囲を避難誘導しなければならず右往左往。いつもより時間はかかりましたが、何とか全利用者を避難させることができました。当園にはスプリネックス(薬液の出る最新式消火設備)も設置されており、万が一火災になっても最小限で治まるとは思いますが、いざという時に冷静に自分の命を守る行動をみんながとれるように今後も訓練を重ねていきたいです。

はあと&きらめき ワークフェスタ in京丹後で舞う

支援部主任 中西 政博



去る十一月十五日、丹後王国「食のみやこ」にて開催されましたイベントに利用者の方十七名と職員数名で参加し、以前からオープニングを飾ってほしいと依頼を受けていたよさこいを踊ってきました。当学園の行事で踊ったことは何度もあるけれども、そんな大きなイベントで、ましてやオープニングを飾ることになるなんて…(汗)大舞台で披露しなければならぬプレッシャーもあり、幾度も練習に練習を重ね臨んだ本番でしたが、やっぱり緊張…。利用者の皆さんもいつもと何か違う雰囲気になれそうになりながらも、緊張を振り払うかのように今まで以上に大きな声を出し、初の大舞台で一杯踊りきる事ができました!

希望と安心を お届けして —クリスマス会報告—

生活支援員 牧野 武範



丹後の空を北西の季節風が席卷して、ウラニシ模様の鉛色の日々が、立冬、小雪、大雪と続いていきましたが、本格的な降雪の見られない冬至近くの十八日金曜日、ホワイトクリスマスを楽しむことができました。今回の会は、前回好評を博しましたので引き続き本館とブナの木寮に分かれての昼間のクリスマス会でした。この異例ともいえるクリスマス会の雰囲気盛り上げてくれたのは、利用者さん達の希望に沿ったプレゼント購入と増改築によつて狭くなった中庭のすべてを使ったイルミネーションでした。「きれいな洋服買って!」「ラジコンカー欲しい」「CCレモンたくさん!」……みんなの夢は膨らみます。夜の帳が降りると、窓の外には幻想的なイルミネーションが拡がります。樹木のない庭にブルーのツリーの出現です。うっとりとした



眼で「綺麗やなあ」。製作者は「もっと早く完成させたかった」と悔やみます。十八日当日は、朝早くから調理部職員は超豪華なクリスマスランチ作りに奮闘しました。クリスマス飾りや尖塔を再現したトレイは強くクリスマスを印象付けてくれます。お腹を幸せに満たした後は、恒例の職員の出し物です。若手職員によるドタバタ喜劇。ベテラン職員扮する武田鉄矢指揮の老いた少女聖歌隊八人のハンドベルと松本さんの吹くりコーダーが「きよしこの夜」と「赤鼻のトナカイ」を奏する言葉「を奏するとムードは最高潮。芸の達人の究極の二発芸で会場は笑いの坩堝と化しました。四月からの工事に続く工事で慌しかった一年が走馬灯のように脳裡に浮かびます。サンタに仮装した新人職員によるプレゼント渡しでは、各々の夢にみた品物と共に来たる年への希望と安心も届けさせて頂きました。

ポランティア お世話になりました

生活支援員 田中 静

十二月十九日、カブトムシと花壇整備、リサイクル回収のポランティア活動を行いました。当日はあいにくの天候で、利用者さんは参加せず、職員十人で実施しました。カブトムシのポランティアではカブトムシの幼虫の餌となる腐葉土集めを行いました。腐葉土はこれまで主に使用していた木材チップに比べ、手間はかかりませんが、幼虫の食いつきがよく、幼虫が餌をたくさん食べることで、より大きいカブトムシを育てることができるようになります。

一方、花壇のほうは、国道沿いの花壇にアネモネの球根とパンジーの植え付けを行いました。現在咲いているのはパンジーのみですが、春には、パンジーに加えて、アネモネ、水仙等の花が楽しめる予定です。学園にお越しの際はぜひ、見ていってください。

以上、ポランティア委員会からの報告です。

また、最後になりましたが、多くの保護者の方より雑巾を頂き、園内清掃に使用させてい



ただいています。学園へのポランティア活動へのご理解・ご協力ありがとうございます。本年もよろしくお願ひします。

お知らせ

【利用者】

◎山口二朗さんが平成二十七年十月一日付けで入所されました。

◎松本芳秀さん・多田豊さんが十二月一日付けで入所されました。

【職員】

◎支援部 伊藤ゆかり

九月二十六日に女兒誕生

◎支援部 吉田雄三・あかね夫妻

十一月六日に男児誕生

◎支援部 安里仁美

十一月一日付けで産休・育休から復職

事務だより

平成二十七年八月一日

十一月三十日

(敬称略)

【寄贈】

秋山千恵子、和泉秀雄、いととめ、今井久男、(株)入柿水道、金下建設(株)、川口博司、京都北都信用金庫大宮支店、(有)小林プロパン、下原美恵子、竹内千鶴子、丹後大宮ゆう菓

局、中井律子、野村芳昭、廣野省三、萬代勇、弥栄町黒部区、山岡義信、山口暢康、山中信子、山根久枝、ゆう建築設計清水、陸整工業(株)ルコモコ

【寄付】
ヒロセ工業(株)

リサイクル作業

(アルミ缶・銅線・フルトツプ
ヘルマーク・古紙回収)
ご協力いただいた方



平成二十七年八月一日

十一月三十日

(敬称略)

相見美佳、安達良史、安達酒店、安達電気、新井孝弘、芦田完二、五十嵐屋商店、生野電気、石河(有)、いととめEAT店、稲岡嘉郎、稲岡晴子、岩佐利夫、今西久野、梅田歯科医院、エナジールランド大宮、えびす電気工事店、エルクラブ・オオミヤ、大宮北保育所、大宮第一小学校、大宮第一小学校PTA家庭教育委員会、大宮南保育所、岡島三協製作所、岡田喜美子、オギノ電機、お茶のみ友だち、小笹フサコ、大西勲、掛津区観光部、金子産業(株)、河内山豊美、京都日産自動車(株)、小池食料品店、河野哲朗、小西デンキ、コマキデンキ、米トウtail、後藤鉄工所、笹岡昭義、笹岡儀和、サニーアイランド、シラキ(株)、末次電気商会、宋徳建設(株)、玉木明司、大同享子、大同宏子、高田曉美、でんき館やました、中村久美子、西田建設、西原謙次、畑中酒店、林範尚、番場電気商

編集後記

会、平林善二、日達利雄、平井電気、フリーク、フルーツ王国やさか、藤村順一、堀敏雄、堀博昭、堀保彦、堀江栄志、堀鉄工所、ホリロク(株)、マジカル、まるぜん書店野田川店、まるぜん書店加悦店、水口進、峰山鉄工所(株)、宮尾倍行、村井春雄、矢野辰雄、矢野博、ヤマモト電化サービス、由利徳七、よざ電工(株)、吉岡電気工業、吉田電気商会、吉村食料品店、(株)吉岡設備、(株)吉岡商店、(株)ルコモコ、ロンドン大宮町周枳店、ロンドン男山店、ワタマサ、BGRセンター、明田・遊・五十河・芋野・口大野・尉ヶ畑・三重・森本・吉沢地区の皆さん、保護者の皆さん

「国境の長いトンネルを抜けるとそこは雪国だった」(川端康成『雪国』の冒頭)と文人は申しました。地球温暖化のせいなのか雪が少ない新春を迎えました。怖いのは雪ばかりではありません。インフルエンザに感染性大腸炎：このような困難をしっかりと乗り越えて、野の美しい春が満喫できるように利用者・職員一丸となつて準備に抜かりがなきようにしたいと改めて思います。厳しい冬は大地に深く根を張ることによって豊饒な歳を用意してくれるといえます。年度が終わる頃には急ピツチで工事が進む多目的ホールが竣工する筈です。その時こそ「長いトンネル」を抜けた春の喜びをみんなですごしたいと思ひます。

明けまして
おめでとございます。

(フィールドツリー記)